



# 花のある生活

トミーの寄せ植えプロデュース  
文：富山 昌克

寄せ植えをこれから始めてみたい！という初心者を対象に、簡単にできる寄せ植えを紹介するコーナーです。  
※不定期で連載します。

## 第2回 青色を使って涼しげに 夏の寄せ植え

夏は、涼しげに見える寒色系の花を使って寄せ植えを楽しみましょう。

しかし青系統の色彩は暗くなりがちです。今回はコントラストをはっきりさせるため、「補色」にあたるだいたい色の花を入れました。この組み合わせを「対比調和」といいます。

### 鑑賞期間

10月まで

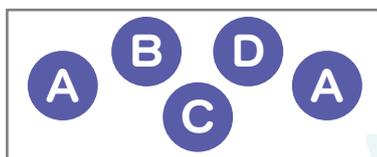
### 水やり

乾いたら、底から流れ出るまでしっかりと

### 置き場所

日当たりのよい場所

### 植え込み図



コンテナサイズ：  
幅36cm×奥行12cm×高さ10cm

### 夏場の水やり

寄せ植えは、通常7～10号の鉢サイズ(21cm～30cm)のコンテナを使います。コンテナが大きく土の量が多いほど、鉢内の乾きが遅くなり、水やりが楽になります。

今回は小さなコンテナなので、水やりは毎日必要です。小さな作品はかわいいですが夏場は水やりが大変です。夏場は毎日水やりする習慣を身に付けましょう。

### 鑑賞期間(10月)の後は…

ランタナとサルビアだけが残り、ほかの花は枯れてしまいます。土の表面が乾いたら水をあげ、乾かし気味に管理しましょう。



A

サルビア・ファリナセア  
"シラス"

美しい青紫の花を長期間咲かせる。株があまり大きくならず、寄せ植えに使いやすい。半耐寒性の多年草。



B

"ブルー"



B

マリーゴールド

鮮やかな黄色やだいたい色の花を長期間咲かせる。栽培も容易。一年草。



C

アゲラタム

花の期間が長く、次々と花を咲かせながら、こんもり大きく茂る。多年草だが、寒さに弱く、日本では一年草として扱われる。



D

ランタナ・カマラ

花色が変化することから「七変化」の和名をもつ。寒さに比較的強く、戸外でも冬越しする。



1

緩効性化成肥料を園芸培養土にあらかじめ混ぜておき、コンテナの底が見えなくなるくらいまで入れます(小さいコンテナでは鉢底石は不要です)。



2

コンテナにポットのまま並べ、植える位置を確認します。



3

次にポットから苗を取り出し、底の根の一部をはさみで切り、コンテナ内に並べていきます。



4

並べた苗の間に、園芸培養土を入れていきます。